

本 建 発 第 5 4 7 7 号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長殿

宮城県本吉町長 森 琢 男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

清秋の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本町の道路行政に対しまして深いご理解と、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号でご依頼ありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

住所	宮城県本吉郡本吉町津谷 館岡 10
担当	本吉町役場建設課 国県事業対策専門監 佐藤
TEL	0226-42-2600（内線 62）
FAX	0226-42-2088

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

宮城県 本吉町

全国的な道路交通網を形成する上で、今後の地域高規格道路につきましては、社会資本整備審議会において方向性が審議され、整備路線を決定していくとの方針が出されております。加えて、費用便益比（B/C）や将来交通需要推計等についても議論されておりますが、是非、道路整備計画を策定される際には、B/C に地域住民の災害に対する安全性や被災時の救援等も考慮して頂く事が重要であると思います。こうした当地域の実情を十分ご理解賜り、三陸縦貫自動車道を道路整備計画に網羅されて頂きますよう要望いたします。

道路関連法案の中において、道路特定財源は今年の税制抜本改革時に廃止し、平成21年度から一般財源化されることになっておりますが、真に必要な道路は着実に整備していくとの方針はあるものの、地方に住む我々にとっては、確実に道路予算が確保されるか大変懸念されるところであります。よって、現在制度化されております地方道路整備臨時交付金制度につきましては、引き続き堅持・拡充されますよう強く要望いたします。

また、道路中期計画は、5年間の整備計画に見直しされることになっておりますが、都市部では、高速交通体系の整備より交通渋滞の緩和等を希望しておりますが、地方にとってはまだまだ道路整備が遅れていることから、道路予算を確実に確保し、三陸縦貫自動車道をはじめとする高規格幹線道路の早期整備促進が、この地方を大きく躍進させるものであり、地域の長年の思いを是非ともお汲み取り頂きたいと思っております。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

宮城県 本吉町

○現状

三陸沿岸地域は、自動車交通に依存せざるを得ない社会環境にあり、社会・経済活動や日常生活は道路によって支えられております。

当地方の唯一の幹線道路である国道４５号は、リアス式海岸の地形上、津波や土砂災害等の被害を受けやすく、近い将来高い確率で発生が予想されております宮城県沖地震で各所が寸断された場合、救急救命活動や高度医療サービスへの障害が懸念されております。

また、当地方は少子高齢化の進みが早く、若者の都市部への流失に歯止めが懸からない状況にあります。これは、地元で就労の場が少ないことが大きな要因であり、インフラ整備が進めば企業立地へも繋がるものと確信しております。更には、本町の基幹産業である第１次産業の衰退は、後継者不足が大きな原因であり、中央市場への流通形態を確保できれば今後の農林漁業の後継者問題も解決できるものであります。

○課題

当地域は、一家族に複数台数を保有する家庭が多く、どうしても自動車に依存しなければならない地域であります。特に、仙台圏域への移動時間が２時間３０分以上も要するため、通勤圏内にはならない地域であり、加えて当地域での就労の場が少ないことから若者の定住が難しい状況にあります。

また、宮城県沖地震等の災害が発生した際に、国道４５号が寸断された場合は、救急救命活動や災害支援活動に大きな支障を来すことになることが想定されます。よって、当地方への高速交通網の整備が急務であると考えられることから、三陸縦貫自動車道の整備促進が大きくこの圏域の社会基盤を担うものでありますので、今後とも整備促進が図られるようよろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

宮城県 本吉町

当地方は少子高齢化の進みが早く、若者の都市部への流失に歯止めが懸からない状況にあります。これは、地元で就労の場が少ないことが大きな要因であり、インフラ整備が進めば企業立地へも繋がるものと確信しております。更には、本町の基幹産業である第１次産業の衰退は、後継者不足が大きな原因であり、中央市場への流通形態等の安定した産業基盤が確立できれば、今後の産業振興の発展や後継者問題の解決に大きく影響が及ぶものと思われます。

また、地域経済を取り巻く厳しい状況を克服するためにも、農工連携や交流人口の増大による地域の活性化により、第１次産業から第２次・第３次産業までの連携による総合産業化を図り、地域の活性化と食料自給率の向上に資するよう頑張っていきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

宮城県 本吉町

三陸縦貫自動車道の整備促進は、この圏域の社会基盤を大きく担い、都市圏と三陸地域の連携強化を図る大動脈として極めて重要な路線となることは必須であります。特に、人口減少の歯止めや若者の定着化、更には基幹産業の発展、高度医療サービスへのアクセス等この地域の存続をかける意味においても、三陸縦貫自動車道の早期整備促進が強く望まれます。

また、三陸縦貫自動車道の当地方に及ぼす効果は、何よりも地域に暮らす人との安心・安全（医療・防災面）と地域に活力を与えるものであり、更に産業振興は福祉の糧であると考えております。

現在進められております本吉気仙沼道路の大谷 IC（仮称）～気仙沼 IC（仮称）間の早期完成と、志津川 IC（仮称）～大谷 IC 間の早期事業化が図られるよう強く期待するものであります。